

四日市版コミュニティスクール報告書(令和2年度総括)

四日市市立桜台小学校

校長 矢田 昌也

1 コミュニティスクール(学校運営協議会)のねらい

四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「桜台小学校運営協議会」が発足して、3年次を迎えました。本校の学校づくりビジョンに掲げた学校教育目標「夢と希望に向かって心豊かに学び合う子どもの育成」を実現するために、今年度は「学校を開く」「地域との対話」を大切に、保護者・地域の声に耳を傾けながら本校の教育活動を活かしつつ学校経営の改善を図ってきました。

2 コミュニティスクール(学校運営協議会)の実践について

本年度6回の運営協議会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症対策で、第1回と第2回を中止としました。第4回として、本校の秋季運動会を参観していただき、意見交換をしました。第5回は桜中・桜小とリモートを使って合同開催をし、同じ桜中学校区にある小・中学校の取り組み実践を交流し、地域の力を学校運営に生かしてきました。

(1) 教育活動の実践事例

①学習活動への支援

【学習支援ボランティアの活用：全学年】

従来から定着していた図書ボランティアに加え、学習支援ボランティアを積極的に活用して5年目を迎えました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策で図書ボランティアによる読み聞かせは中止とし、図書室を中心とした読書環境の整備をお願いしました。また、普段の授業の中での学習支援についても同様に今年度は見送りました。ただ、夏の補充学習では、算数ボランティアさんにも来ていただき、児童の学力の基礎基本の定着にご協力いただきました。

<夏の補充学習>



②地域や人から学ぶ

【福祉体験：3年生】

毎年、桜ボランティア協会の方々にお世話になって、車いす体験やアイマスク体験を行っているところですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策で見送りました。

【「ボランティアさんありがとうの会」の取組：全校】

今年度は、校庭の除草で「緑の会」や「園芸ボランティア」の方々に大変お世話になりました。運動場一面が草で覆われ、子どもたちの手では除草が追い付かない状況になりま

したが、ボランティアの方々が、こつこつと除草を進めて下さり、無事に運動会を開催できる状態までしていただきました。

子どもたちの中から、感謝の気持ちを伝えたいという声上がり、児童会が中心となって、全校児童の前で感謝の言葉を伝え、紙で作った花束と感謝の気持ちを記した手紙を渡せる場ができました。



③保護者・地域へ開かれた学校づくり

【交通安全見守り会との情報交換会】

学校だよりを通して、児童の登下校の際には保護者や地域の見守りを呼びかけ、民生委員さんを中心に、児童の登下校を見守る「桜台小学校見守り会」が発足し2年目を迎えています。おかげさまで、皆様の存在に心から感謝している保護者の声がたくさん聞こえています。これからも、地域みんなで児童を見守るとともに、家庭、児童、教職員それぞれの防犯意識を高めていきたいと思ひます。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度、運営協議会が発足して4年目となりました。今年度も7名の委員の皆様にもたちの姿を実際に参観していただくことを中心に据え、様々なご意見をいただくことを考えて計画を立ててまいりましたが、新型コロナウイルス感染症対策でまなならぬ状況となりました。



そのような中で、9月に感染症対策を十分に講じ、授業参観をしていただいた後、第3回の運営協議会を実施し以下のような質疑をいただきました。

- ・落ち着いた授業態度だった。
- ・コロナ対応の中で、マスク着用はどう考えているのか。また、コロナ不安から不登校になっている子はいないか。
- ・先生方もマスクをして授業をしていると、声の大きさに気を使わないか。
- ・休校の影響が、学力に出ていないか。

・コロナストレスは子どもに表れていないか心配していたが、授業の様子を見ていると心配はないように感じた。

・ICT と空調の整備は、コロナ対策の中で一気に進み、昨年ではなかったので新鮮に映った。

第5回運営協議会は、桜中学校区である桜中学校や桜小学校とリモートを使って、合同開催し、同じ桜地区に住む他校の運営委員さんとの交流や懇談を行うことで、本校の学校運営や教育活動についてより理解を深めていただきました。また、いただいたご意見は職員に伝え、改善に努めてきました。



第6回運営協議会では、6年生を送る会リハーサルを参観いただいた後、学校アンケートの結果をお示しし、以下のようなご意見をいただきました。

- ・手指消毒、うがいの徹底などを行ってきたことで、インフルエンザで休む子がいないという結果になったことから、コロナ対応が好影響を及ぼしている。ただし、それだけではなく、外出自粛もその一因となっていると思う。
- ・教職員による評価に関わって、改善方針が示されているのは良いことだ。
- ・人権教育に力を入れていることが伺える学校の取り組みである。特別支援学級児童の学習発表会のリハーサルを見守る姿勢を聞くと、人権意識が育っていると感じる。評価が「3」となっているが「4」でいいのではないか。
- ・児童用アンケートは、番号による解答だけなので、自由記述欄を設けて思いを聞く工夫をするとよい。

委員の皆様からは、新型コロナウイルス感染症対策で、工夫を凝らした教育活動を展開したことは評価できる。今後、心の教育を大切に、小さいころから人の気持ちを理解し、手を差し伸べ、協働する力の育成が大切と思うというご意見をいただきました。

今後も引き続き、開かれた学校づくりを目指して、学校HPや学校だより「ひょうたんいけ」などで、子どもたちの様子を発信していくことを伝えさせていただきました。

3 今後に向けて

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、運営協議会の開催数を減らしての実施となりました。また、子どもの様子を参観いただいて、ご助言をいただく機会も減ってしまいました。そのよう中で、「できない」ではなく、「できる工夫を」を合言葉に学校運営を展開してまいりました。そのような中でも、1人1台のタブレットを導入した教育活動を参観していただけたのはよかったです。「ICTと空調の整備は、コロナ対策の中で一気に進み、昨年はなかったのが新鮮に映った。」という委員様の声もいただき、これからの教育活動に高い関心を持っていただいていることが伺えました。

登下校の見守り等の取組が継続し、地域と学校が協力し合う関係がさらに深まりつつあります。今後も、この協力体制を大切に、地域とともに、継続的かつ無理のない、創造的な教育活動を進めていきたいと思えます。

また、桜中学校区の特徴として、運営協議会は本校単独開催だけでなく、桜中学校との合同開催や、桜小学校も含めた3校での開催を行っています。合同開催の際には、開催校の授業参観を行い、その様子を通して交流を深めることに大きな意義を見出しています。これからも、3校の連携を密にとり、運営委員の皆様はもちろん、地域の皆様のご協力・ご支援をいただきながら、地域の教育力を学校教育に生かし、学校運営を進めていきたいと思えます。